

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7
災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

河川課長 星野 充孝

電話番号

0852-22-5195

事務事業の名称	ダム管理事業	
目的	(1) 対象	下流域住民
	(2) 意図	洪水被害や濁水被害から守る。
事業概要	○洪水調節：洪水から下流域住民を守るため、ダムの洪水調節を実施する。 ○利水補給、濁水調整：濁水から下流域住民を守るため、ダムから利水補給を実施し、また、必要に応じて関係機関との調整を実施する。 ○施設の維持管理：ダム機能維持のため、施設の点検及び老朽施設の修繕、更新を実施する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位						
1	指標名	県民の安全安心な暮らしの確保率（％）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	％					
	式・定義	(A-B)/A ※A=洪水調節日数+補給日数、B=被害日数（計画規模を超えるものを除く）	取組目標値											
			実績値	100.0	100.0	100.0				達成率	100.0	100.0	100.0	-
2	指標名		目標値						％					
	式・定義		取組目標値											
			実績値							達成率	-	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	823,100	812,612
うち一般財源 (千円)	284,494	169,786

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

洪水調節、利水補給を実施するため適切な維持管理に努める。 ・出水期前にダム管理演習を開催し、危機管理体制を確認 ・濁水に備え、降雨、流況を把握するとともに、必要に応じて調整協議を実施 ・機器の定期的な点検、保守を実施 ・耐用年数を経過した設備、機器の計画的な更新及び予算の平準化、最小化を図るため、長寿命化計画を策定
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

ダムの適切な洪水調節、利水補給の実施により、流域住民の安全安心な暮らしが守られた。特に平成29年7月の県西部に大雨特別警報が発令された豪雨時において、浜田市の御部ダム、大長見ダム等で洪水調節を行いダム下流域で大幅な水位低減を図った。 また、西ノ島町では、平成29年7月～9月の間、濁水傾向にあったが、美田ダムから送水している水道用水について、ダムからの放流量を調整して貯水量を確保することで安定的な供給を図った。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 ・限られた予算で各設備の点検結果や老朽化の状況に応じて計画的な更新を行う必要がある。
②困っている状況が発生している「原因」 ・ダムは機器数も多く、また、本県のダムは完成時期が古いものもあり、各ダムでの機器の補修、更新の時期が重なることから、予算的に厳しい状況にある。
③原因を解消するための「課題」 ・機器の機能に応じて健全度のレベルを設定し、時間計画保全や状態監視保全を使い分け、優先順位をつけて補修、更新を行うことで、予算を有効的に活用する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・ダム長寿命化計画実施に向けた予算確保を働きかける。 ・事業実施にあたり、予防保全的な手法を取り入れ、ライフサイクルコストの低減を図る。
